



Think Automation and beyond...



IDEC 株式会社

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目6番64号
TEL: 06-6398-2500(代表)
<http://jp.idec.com>

IDEC Report **2021**



この報告書は環境に
配慮し、植物油インキを
使用しています。



Pioneer the new norm for a safer and sustainable world.

いつも、ずっと、みんなに新しい安心を

IDECは2020年11月に創業75周年を迎えました。1945年に「和泉商会」として創業以来、人と機械をつなぐHMI(Human-Machine Interface)の開発を続けてきました。

機械の操作スイッチをはじめとする制御機器開発で培ってきたコア技術を活用し、工場などの製造現場やくらしの身近な場面において、人と機械が向き合う接点をより安全に、そして快適にすることで社会に貢献したい。そのために、人はミスをするもの・機械は故障するものという前提で、不測の事態でも人を守ることができる、安全・安心・ウェルビーイングの実現と追究を目指しています。

私たちが75年間貫いてきたこの思いを、世界へ、そして次の100周年へとつなげていくために、新たな時代に求められる新しい価値を創造していきます。

INDEX

- P01 Who We Are
- P02 The IDEC Way
- P03 At a Glance
- P05 IDECグループの歴史
- P07 Value Creation Process
- P09 財務・非財務データ
- P11 CEO Message
- P15 特集:持続的な成長に向けて
- P17 事業紹介
- P28 ESG+Sa+Q
- P35 Company Overview

The IDEC Way

IDECグループは、真のグローバル企業を目指していくための新しい理念として、『The IDEC Way』を制定しました。

Vision 私たちが目指す未来

Pioneer the new norm for a safer and sustainable world.

いつも、ずっと、みんなに新しい安心を

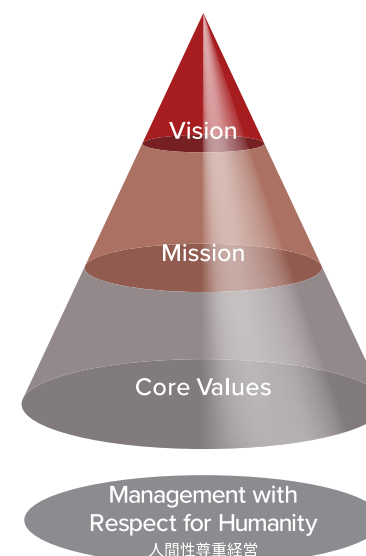
Mission 私たちの存在意義・使命

To create the optimum environment for humans and machines.

人と機械の最適環境を創造

Core Values 私たちが共有するべき価値観

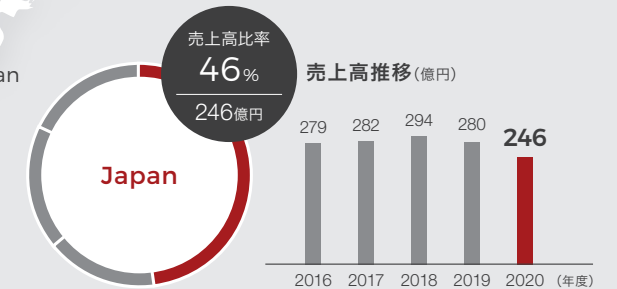
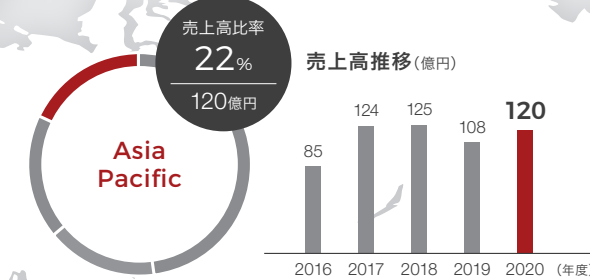
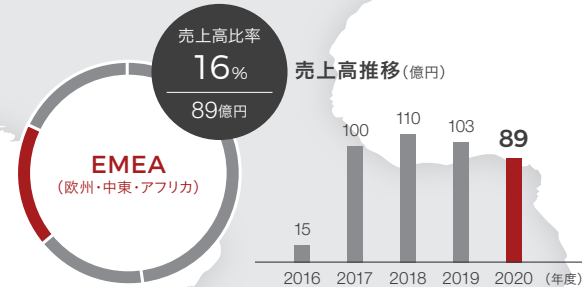
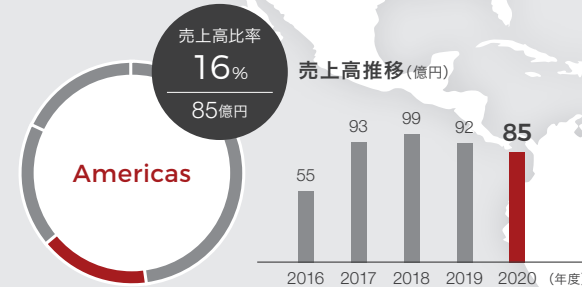
詳しくは  P36



※2021年3月末現在の拠点所在地

真のグローバル企業への変革

市場・業界ニーズにマッチした、最適なコンポーネンツ、ソリューション、サービスを提供できる開発・生産・販売体制を整備することで、グローバルで揺るぎない地位の確立を目指します。

Check
01

グローバルネットワーク (2021年3月末)

世界
15か国

社員数(連結)
3,780名

半導体
Semiconductor

工作機械
Machine Tools

特殊車両
Special Vehicles

自動車
Automotive

ロボット
Robotics

食品機械
Food and Packaging

エレベータ
Elevators

T&L
Transportation
and Logistics

マテリアルハンドリング
Material Handling

Check
02

9つの注力業界

長年培ってきたFA(ファクトリー・オートメーション)の知見やノウハウを活かし、IDECグループが強みを持ち、今後成長が期待できる9つの業界に注力しています。

IoTの普及や自動化の進展、産業現場の安全確保など、さまざまな社会課題や顧客ニーズに柔軟に対応するため、幅広いソリューションを提供するとともに、各地域における注力業界を定めることで、グローバルビジネスの拡大を推進しています。

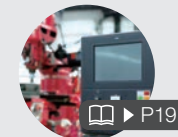
Check
03

製品別売上高

人と機械をつなぐHMI(Human-Machine Interface)分野のリーディングカンパニーとして、多様な製品やソリューションを提供することで、安全・安心・ウェルビーイングの実現に貢献しています。

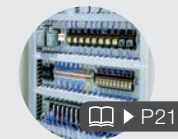
1 スイッチ事業
Industrial Switches

251億円 / 47%



2 インダストリアルコンポーネンツ事業
Industrial Relays & Components

98億円 / 18%



3 オートメーション事業/センシング事業
Automation & Sensing

82億円 / 15%



4 安全・防爆事業
Safety & Explosion Protection

65億円 / 12%



5 システム
System

32億円 / 6%

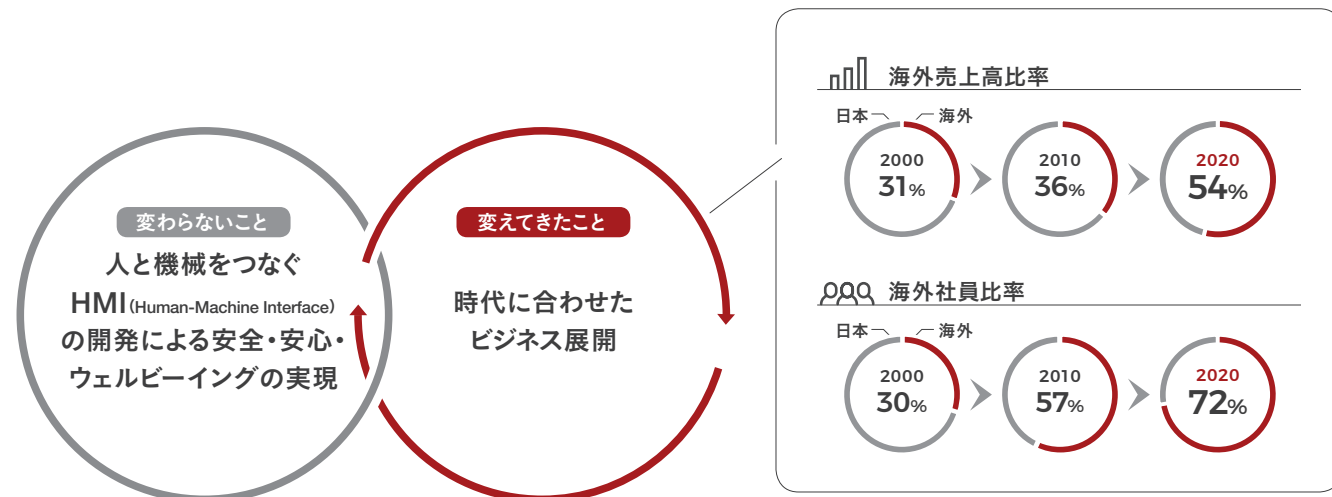


6 新規事業・その他
New Business

12億円 / 2%

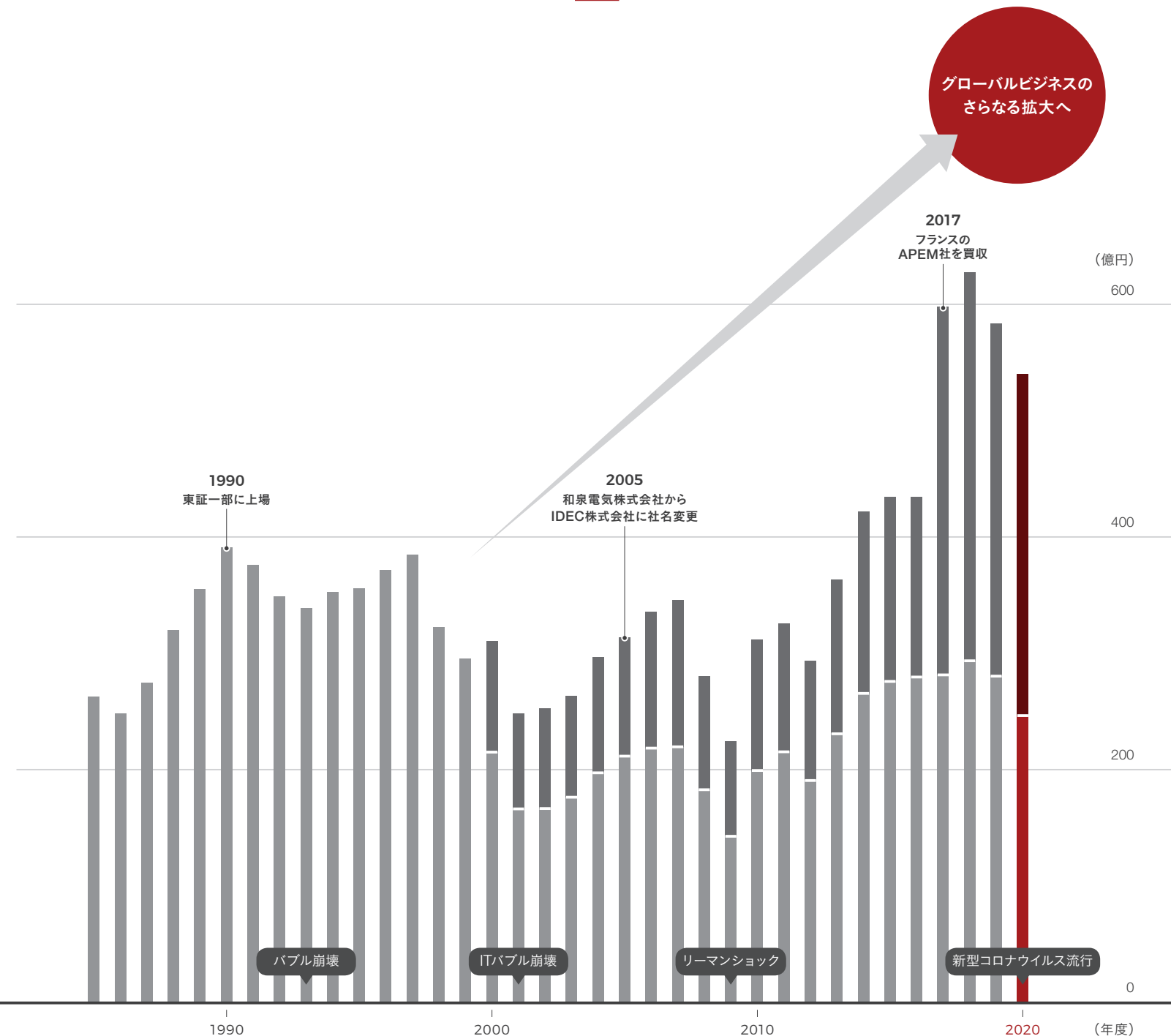
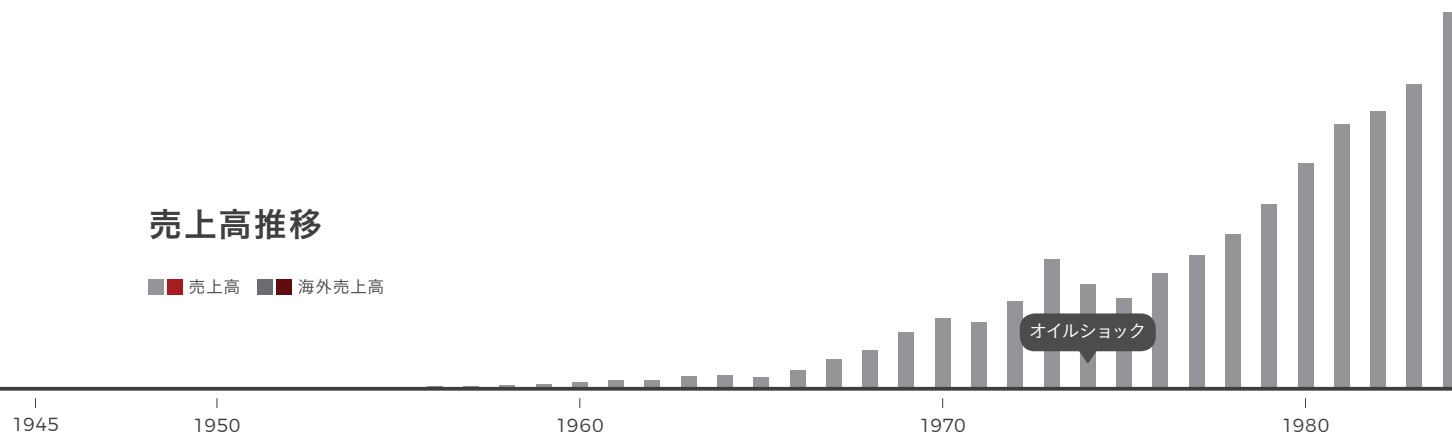


100周年、さらにその先の未来に向けて グローバルな社会課題の解決に 挑戦していきます。



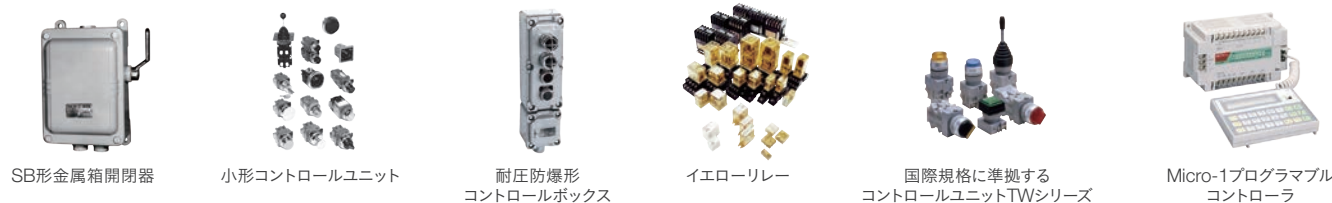
売上高推移

■ 売上高 ■ 海外売上高



戦後復興のものをづくりを支える

創業当時は電気器具の小売、販売を行っていましたが、機械設備などに欠かせない開閉器が不足していたことから高品質の開閉器を開発し、ロングセラー製品となりました。繊維・化学工場、石油コンビナートなどで活躍する防爆関連機器とともに、戦後復興のものをづくりを支えました。



制御機器の総合メーカーとして自動化・機械化に貢献

高度経済成長とともに、制御機器の総合メーカーへと転換。工場設備の自動化・機械化の進展により、電子・システム製品分野にも進出しました。企業規模の拡大と量産化に対応するため、海外に生産・販売拠点を設立し、業績は拡大を続け、1990年には東証一部に上場を果たしました。

「人と機械の最適環境」を創造

ものづくりの現場は人と機械が共存する環境が主流となり、安全性や生産性に配慮した設備のニーズに応える製品として、国内初の安全スイッチやイネーブルスイッチなどを開発しました。また、主力工場に多品種変量生産を実現するロボット制御セル生産システムを導入し、自動化・省力化を推進しました。



グローバルな社会課題の解決に挑戦

創業60周年を迎えた2005年に、「IDEC」へと社名を変更しました。2017年にはフランスのAPEM社を買収し、グローバルビジネスの拡大を進めるとともに、社会課題の解決に貢献する新規事業にも取り組むなど、真のグローバル企業となるための変革と挑戦を続けることで、持続的な成長を実現していきます。

Value Creation Process

IDECグループは創業以来、制御技術や安全技術を核とする製品やサービスを社会に提供してきました。

事業活動を通じてさまざまな社会課題を解決することで、世界のものづくりの現場とくらしのシーンにおける、

自動化・省力化・効率化の推進、安全・安心・ウェルビーイングの実現、環境負荷低減に貢献し、

持続可能な社会の実現を目指しています。



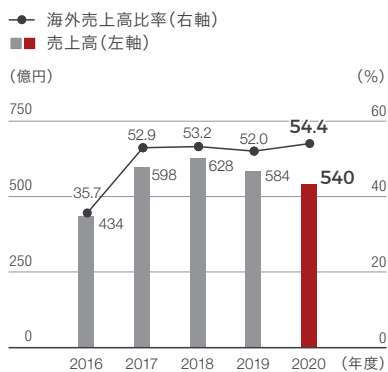
財務データ

連結

売上高

540億円

前年度比 -7.5%

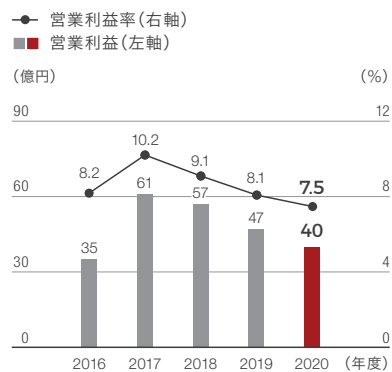


新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、中国を除く各地域で、システム以外の各製品群の売上が減少しました。海外売上高比率は、54.4%となりました。

営業利益

40億円

前年度比 -14.1%

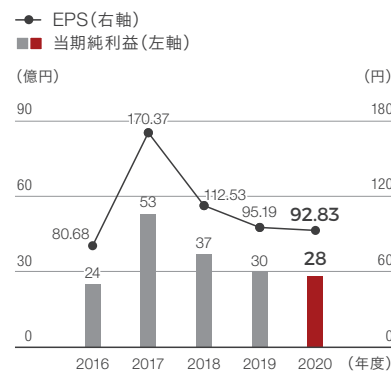


グローバルで販売管理費の削減を推進したものの、スイッチ事業など主力製品群の売上が減少したことなどから、営業利益率は7.5%となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益

28億円

前年度比 -6.7%

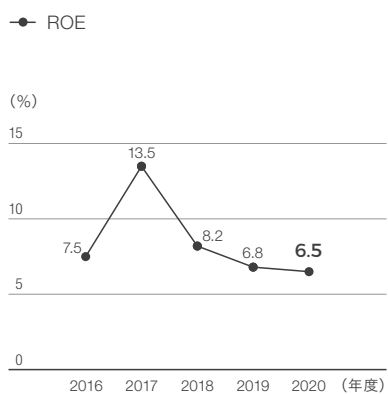


主に営業利益が減少したことにより、当期純利益も減少しました。

ROE

6.5%

前年度比 -0.3pt

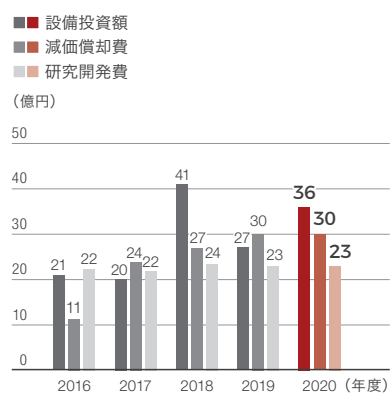


厳しい事業環境の影響により、当期純利益が減少したことなどから、ROEは6.5%となりました。

設備投資額

36億円

前年度比 +33.4%

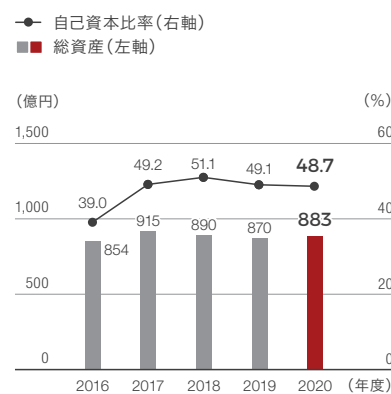


国内外の子会社における工場の新規建設、移転などにより、設備投資額は前年度比で増加しました。

自己資本比率

48.7%

前年度比 -0.4pt

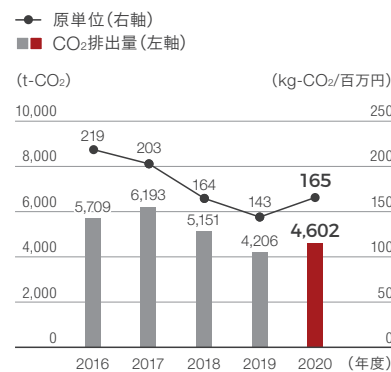


APEM社を買収した2016年度に自己資本比率が40%を下回ったものの、その後は50%前後で推移しています。

非財務データ

IDEC単体

※原単位算出方法の見直し・変更を行い、過年度データを修正しました

CO₂排出量4,602t-CO₂前年度比 +396t-CO₂

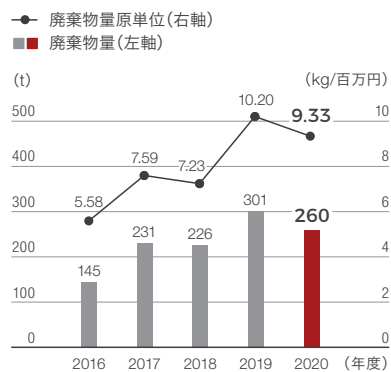
スコープ3（サプライチェーン全体のCO₂排出量）の算定基準を策定し、国内グループ会社を含めて2021年度から四半期ごとにデータを集計予定です。集計データは効果的なCO₂削減施策検討のために活用します。

※2019年度のCO₂排出係数を変更し、CO₂排出量を修正しました。

廃棄物量

260t

前年度比 -41t

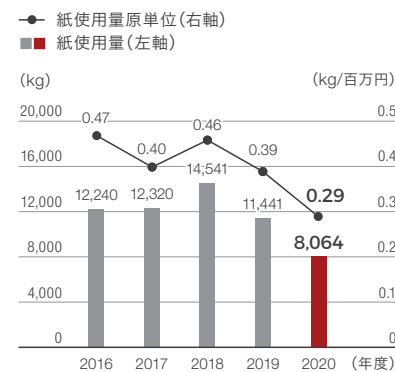


廃プラスチック削減のため、自社リサイクルを強化し、リサイクルできるものの精査を行いリサイクル率向上を図っています。本社や国内主要事業所では社内自販機でのPETボトル飲料の販売停止を継続しています。

紙使用量

8,064kg

前年度比 -3,377kg

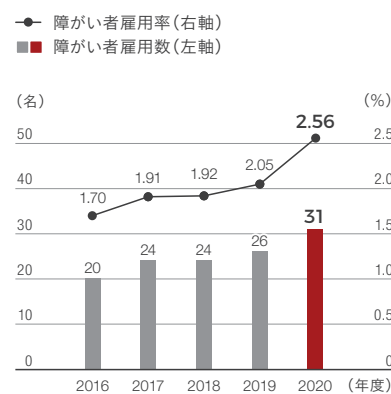


ペーパーレス推進のため、紙での決裁申請を廃止し、電子印で申請・承認が行えるようにしました。アSEMBルセンターでは紙の作業指示書を書き換え可能なカードに変更したことで、紙や保管スペースの節約につながっています。

障がい者雇用数・率

2.56%

前年度比 +0.51%

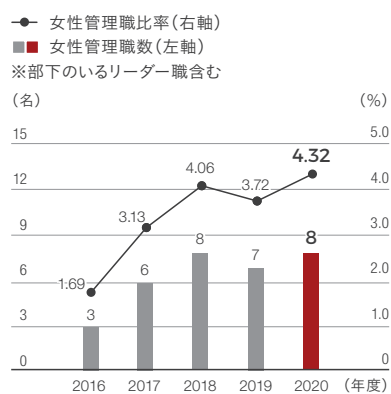


職場環境や適性を確認した上で働いていただけるよう、職場体験やトライアル雇用の機会を設けています。外部のジョブコーチ支援事業を利用し、本人と関係者が集まり話し合う場を毎月持つなど、職場適応支援も行っています。

女性管理職数・比率

4.32%

前年度比 +0.60%

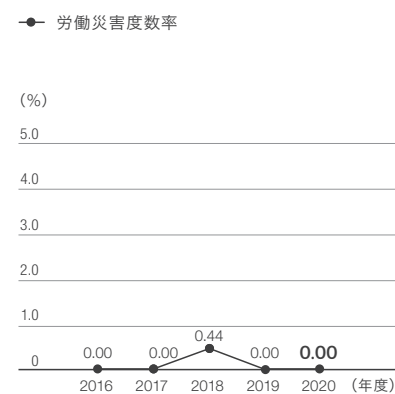


女性活躍推進のため、次世代幹部候補に女性社員を選抜し、人材育成に取り組んでいます。2021年度は女性社員向けに管理職養成プログラムを実施予定です。2025年度までに女性管理職比率10%を目指しています。

労働災害度数率

0.00%

前年度比 ±0.00%





リスク低減のため、生産拠点で設備・作業のリスクアセスメントや、社員による「気付き報告」を実施しています。滝野事業所では外国人技能実習生向けに緊急避難指示や作業手順書をベトナム語に翻訳し活用しています。

CEO Message

人と機械の最適環境の創造により、 多様化する社会課題の解決に貢献し、 持続的な成長を目指します。

代表取締役
会長兼社長
船木 俊之
Toshi K. Funaki


 安全・安心な社会の実現に加え、全ての人々の
ウェルビーイング向上のための取り組みを実施しています。


 事業活動を通じた社会課題の解決を通して、
持続的な成長と高収益体質に向けた変革を推進します。

安全・安心・ウェルビーイング[※]向上に 向けた取り組み

1945年の創業以来、IDECはさまざまな製品やサービスを社会に提供してまいりました。2019年に制定した新しい理念『The IDEC Way』では、Visionとして「Pioneer the new norm for a safer and sustainable world. (いつも、ずっと、みんなに新しい安心を)」を掲げており、ものづくりの未来と新たな可能性を創造し、明日の「当たり前」となる、新しいスタンダードの開拓者になるとともに、全ての人々に幸福と安心をもたらす、より安全で持続可能な社会の実現を目指しております。

また、事業活動を通じた社会課題の解決により、「持続可能な開発目標(SDGs)」を達成していくためのさまざまな取り組みを行っております。2009年から国連グローバル・コンパクトに加盟し、10原則に基づいた活動を推進しており、2018年4月にはCSR委員会を立ち上げました。

環境(E)、社会(S)、ガバナンス(G)、そしてIDECの強みである安全(Sa)と品質(Q)を重点分野と定め、継続的なCSR活動を推進しております。

2018年1月には、国連の専門機関であるILO(国際労働機関)傘下のISSA(International Social Security Association)が推進する労働安全衛生のVision Zeroキャンペーンに日本で初めて賛同、登録いたしました。これはトップマネジメントが主導し、企業における「安全・健康・ウェルビーイング」を追究するアプローチです。

IDECでは創業当時から、「人の命を守る」製品を開発・提供する企業として、グローバル社会での安全で快適な環境づくりのため、安全・安心を推進するだけでなく、社内外全ての人々のウェルビーイングを向上するための取り組みを推進しております。

※ウェルビーイングとは、個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念。
(出典：厚生労働省ホームページ)




A Company of
VISION ZERO
Safety.Health.Wellbeing.

2020年度[※]の事業概要

新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、2020年度はグローバルで厳しい事業環境となりました。中国は年間を通じて売上高が堅調に推移したものの、日本、米州、EMEAは、経済低迷の影響から売上高が減少いたしました。また注力業界である、工作機械や自動車業界などにおいても、需要低迷や設備投資の先送りなどにより受注が減少いたしました。

しかし、下期からは徐々に売上、受注ともに回復傾向がみられるようになったことから、2020年度の連結売上高は540億円(前年度比7.5%減)となりました。利益については、スイッチ事業など主力製品群の売上減少の影響などから、営業利益は40億円(前年度比14.1%減)、営業利益率7.5%となりました。

一方、事業の構造を改革し持続的な成長を実現するために、デジタルマーケティングや国内外の事業拠点の再編などを推進しております。  P15

※2020年度は2020年4月から2021年3月までの期間です。

TOPIC

全ての人々のウェルビーイング向上を目指して

IDECでは人間性尊重経営を掲げ、ライフワークバランスや健康経営に取り組むとともに、安全・安心を実現する多様な製品を社会に提供してまいりました。誰もが健康で、幸せに、生き生きと暮らすことができる社会を実現するため、創業以来「安全・安心・ウェルビーイング」の向上に取り組んでおります。

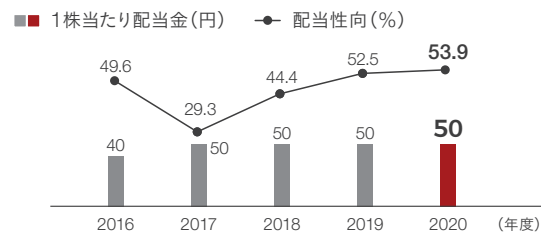
社員に対しては、ヘルスケアセンターやフィットネスジムを設置することで心身の健康維持を図っております。社会に対しては、人と機械が共存する「協調安全/Safety2.0」により、Missionである人と機械の最適環境を創造することで、全ての人々のウェルビーイング向上を追究してまいります。



株主還元

IDECグループでは、財務体質と経営基盤の強化を図るとともに、株主さまに対する安定的な配当の維持と適正な利益の還元を実施することを経営の最重要施策の一つと認識しております。2020年度の1株当たりの年間配当金は50円となりました。

1株当たり配当金と配当性向の推移



2021年度の取り組み

世界経済に関する先行きの不透明感がありますが、働き方改革の推進や、IoT、DX(デジタル・トランスフォーメーション)などによる産業構造の変化に加え、感染防止対策などの新たなニーズも生まれていることから、時代の変化を踏まえた事業体制の構築が必要不可欠となっております。こういった背景を踏まえ、IDECグループのVision、Mission

の達成に向けて、成長戦略の推進、収益性の向上、経営基盤の強化、ESGへの取り組み強化、という4つの基本戦略に基づいた取り組みを行うことで、持続的な成長と高収益体質に向けた変革を推進し、売上高600億円、営業利益は過去最高額となる62億円、営業利益率10.3%を目指してまいります。

成長戦略の一環として、インドや中国など成長市場の売上拡大に向けた取り組みを推進しております。インドには2020年1月に販売拠点を設立し、本格的な売上拡大に向けた営業活動を行っております。中国においては、生産・物流体制の最適化や、需要が拡大している安全関連機器の販売強化、Eコマースなどデジタルインフラの整備を推進することで、より一層の事業拡大を目指しております。また、グローバル拠点の再編を行うことで地産地消を推進するとともに、地域や業界ごとに異なるニーズに合った製品開発を行うことで、売上高の拡大と収益性の向上を図ってまいります。

収益性の向上においては、材料・製品の統廃合を継続的に実施することで、コスト削減や生産の効率化を推進し、高収益体質への変革を図ってまいります。

経営基盤の強化では、グループ管理業務の集約による効率化の推進や、柔軟な働き方に対応するためのコミュニケーション基盤の整備などを行っております。

社会課題への対応

グローバルな社会課題に対応するため、ESGへの取り組み強化を図っております。主な取り組みは以下のとおりです。

 環境 環境負荷低減に向けた取り組みの推進	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーの積極的な活用などによるCO₂排出量の削減 環境配慮型製品の開発促進や環境に配慮した素材の検討
 社会 ダイバーシティの推進	<ul style="list-style-type: none"> 女性活躍推進、LGBT教育など各研修・プログラムの企画・実施 各種休暇の取得率向上や健康維持・増進の施策実施など、社員が家庭と仕事を両立しやすいディーセントワークの実現
 ガバナンス 経営の透明性・効率性の向上	<ul style="list-style-type: none"> 実効性評価の結果を踏まえた取り組みの実施 指名委員会を設置し、次世代幹部候補者育成を推進 グループでのリスクマネジメント体制の構築

新型コロナウイルスの感染拡大を契機として、「非接触」や「遠隔監視・操作」、人が介在しない「自動化」や「省力化」が、

キーワードとして改めて注目を集めています。IDECグループでは、こういったニーズに最適な製品を数多くラインアップしていることから、社会が求める最適なソリューションを提供し、現場の課題解決を推進しております。

例えば、2020年に発売したスマートRFIDリーダは、ICカードなどを読み取る非接触の製品です。主力とするFA(ファクトリー・オートメーション)業界だけでなく、医療などNon-FA業界でも安全・安心



に使っていただけることから、新規チャネルの開拓などを積極的に行っております。

また、日本を中心に販売体制の見直しを行っており、既存の販売網を活用したコンポーネンツビジネスの強化に加え、開発部門・生産技術部門・グループ会社が連携することで、お客さまの課題解決につながる多様なソリューションを提供できる体制づくりを行っております。



新型コロナウイルスの世界的感染拡大により、人々の意識やライフスタイル、社会ニーズなどは大きく変化いたしました。変化は次の成長につながる大きなチャンスでもあります。多様化する社会課題の解決に、IDECグループがこれまで培ってきた制御技術、安全技術を核とするさまざまな製品やソリューションで貢献することで、真のグローバル企業として持続的な成長を目指してまいります。

The IDEC Way

Vision
Pioneer the new norm for a safer and sustainable world.
いつも、ずっと、みんなに新しい安心を

Mission
To create the optimum environment for humans and machines.
人と機械の最適環境を創造

基本戦略への現在・未来のアプローチ

基本戦略	2020年度の取り組み	2021年度の取り組み
 「成長戦略」の推進 <ul style="list-style-type: none"> 成長に紐づく新製品の投入 技術課題解決型の販売強化 販売チャネルの再編・強化 事業領域の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> Push-in対応製品のラインアップ拡充 Safety2.0を実現する製品の発売による啓発、浸透 IoTソリューションの拡販 アジア・パシフィックでの事業拡大 協調安全ロボットシステムの導入加速 	<ul style="list-style-type: none"> 地域・業界ニーズへの対応によるグローバル市場での競争力強化 IoTソリューションの加速 安全のみならず安心を考えたイノベーション製品の創出 中国やインドなど成長市場における事業拡大 Non-FA業界を含めた事業領域の拡大
 「収益性」の向上 <ul style="list-style-type: none"> 材料・製品の統合・品目削減 在庫削減・納期短縮 コストダウンの推進 事業の選択と集中 	<ul style="list-style-type: none"> グローバル生産・販売拠点の最適化 生産の自動化 業務プロセスの見直しと効率化 	<ul style="list-style-type: none"> 製品統廃合の推進による生産性の向上 グローバルサプライチェーンの見直しによる在庫削減・納期短縮 不採算製品や事業の構造改革
 「経営基盤」の強化 <ul style="list-style-type: none"> 働き方改革の推進 構造改革の推進 コミュニケーションの活性化 PMI※推進による基盤強化 <small>※PMI(Post Merger Integration): M&A成立後の統合プロセス</small>	<ul style="list-style-type: none"> 『The IDEC Way』のさらなる浸透 従業員意識調査結果等を踏まえた人事制度改革の検討 グローバルなIT基盤導入による効率化の推進 経営環境に応じた人材確保と育成の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 人事制度改革の推進 業務標準化、デジタル化、IT・オフィス基盤の見直しなどによる効率化の推進 人材の確保・育成、戦略的配置による体制強化 APEMとのシナジーの追求
 ESGへの取り組み強化	本ページ上部の「社会課題への対応」をご覧ください。	

持続的な成長に向けて

IDECグループでは、持続的な成長を実現するためにさまざまな改革をグローバルで行うとともに、従来の働き方を改めて見直し、新たな時代を見据えた取り組みを行っています。

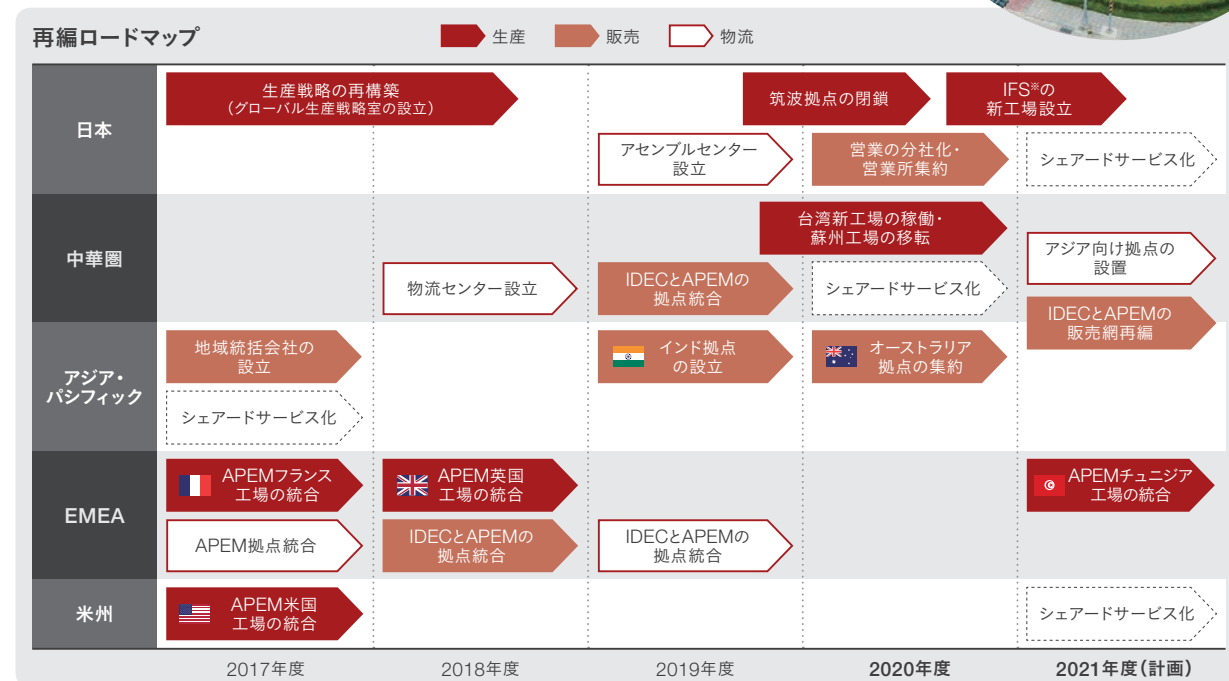


国内外の拠点再編

生産・販売・物流拠点の最適化に向けた国内外の拠点再編を行っています。2020年に筑波の生産拠点を閉鎖し、国内生産拠点の統合を行うとともに、海外においては、蘇州工場を移転し、台湾の新工場を稼働しました。

EMEAや米州では、IDECとAPEMのさらなるシナジー拡大に向けた拠点の統合を進めています。また日本では、スピーディな意思決定を行っていくために国内営業部門を分社化するとともに、18か所の営業所を東京と大阪の2拠点に集約し、オフィスに依存しない営業体制を構築しています。

台湾の新工場



※IFS: IDECファクトリーソリューションズ株式会社



「感染症に強い工場」の実現

非接触の自動検温システム

生産現場における労働安全衛生の取り組みとして、感染症など外来リスクへの対応といった新しい概念が必要となっていることから、感染症に強い工場の実現に向けた取り組みを進めています。

IDECのスマートRFIDリーダ「KW2D形」などの製品と、市販のサーモカメラを組み合わせた非接触の自動検温システムを構築し、国内全ての生産・物流拠点に導入しました。入館前に社員証をRFIDで読み取ることで、計測結果を自動でクラウド上に保存し、遠隔で確認・管理することができます。

またアセンブルセンターでは、IDECのウェアラブル端末を活用したピッキング作業や、RFIDカード・タブレットを活用した組み立てなどを導入することで、手を介した感染の防止に加え、効率化や生産性向上を図っています。

アセンブルセンターの
ピッキング工程

デジタル化の推進



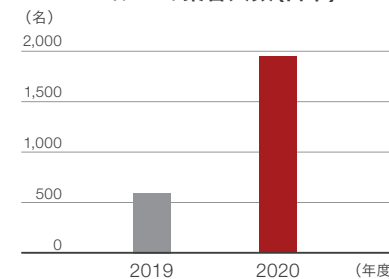
本社に新設したスタジオ

近年、動画の需要が高まっており、配信をベースにした動画映像は今後のビジネスを成長させる重要な鍵となることから、IDECグループの情報発信基地の役割を担う専用スタジオを、2020年に新設しました。

最新の機材を導入したスタジオの開設により、製品販促、オンラインセミナーによるビジネス情報、社内外への情報共有といったさまざまな動画コンテンツを配信し、2020年度セミナーの集客人数は、前年度比の3倍以上となりました。

また、効率的な営業活動を実施していくための取り組みとして、デジタル技術を活用したデジタルマーケティングを推進しています。顧客分析機能や、潜在顧客へのアプローチが可能な、各地域に特化した新しいウェブサイトを開発し、一人ひとりの顧客ニーズに合った情報をタイムリーに提供することで、顧客層の拡大や営業の効率化、サービスの向上を追求していきます。

セミナーの集客人数(日本)



新しいウェブサイト



<https://jp.idec.com/>



協調安全ロボットシステム事業の拡大

人と同じ現場で働くことのできる協調ロボットは、生産現場の自動化や省人化といった需要を背景に、さまざまな分野で導入が進んでいます。また2020年以降は、感染防止対策での新たなニーズが生まれており、ロボットの需要はさらに拡大しています。

今後グローバルで成長が期待できる協調安全ロボットシステム事業の拡大に向けて、IDECファクトリーソリューションズ株式会社では2021年4月に新工場を稼働しました。また2022年3月には新本社も完成予定で、新本社完成後には協調安全ロボットテクニカルセンターを本社内に移設し、ロボットシステムの生産能力はこれまでの3倍となる予定です。

また同時に、制御システムのグローバル展開を視野に、米国の海外規格UL508A認証を取得しました。制御システムのコンサルティングから、設計、生産まで行うことで、ビジネスの拡大を図っていきます。



協調安全ロボットテクニカルセンター



新工場(2021年4月稼働)



新本社(2022年3月完成予定)

時代のニーズに対応した 最適な製品・ソリューションを提供

IDECは、時代とともに変化する顧客ニーズにお応えするため、制御技術を核とするさまざまな製品・ソリューションに加え、コア技術を活用した新しい価値を提供することで、ものづくりとくらしの未来を支えています。

Industrial Switches

スイッチ事業 書P19

IDEC

制御用操作スイッチ



非常停止用
押ボタンスイッチ



スマートRFIDリーダ



セーフティコマンダ



表示灯



キーボード



ジョイスティック

APEM



産業用スイッチ

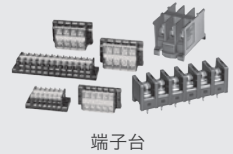
売上高比率
47%
251億円

Industrial Relays & Components

インダストリアルコンポーネンツ事業 書P21



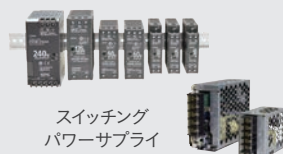
制御用リレー



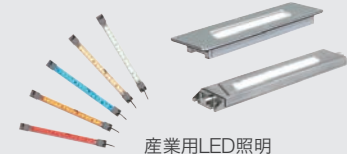
端子台



サーキットプロテクタ



スイッチング
パワーサプライ



産業用LED照明

売上高比率
18%
98億円

Automation & Sensing

オートメーション事業 書P23



プログラマブルコントローラ



プログラマブル表示器



ティーチングペンダント

センシング事業 書P23



センシング機器

売上高比率
15%
82億円

Safety & Explosion Protection

安全・防爆事業 書P25



セーフティレーザスキャナ



防爆表示器ボックス



安全スイッチ



防爆コントロールボックス



イネーブルスイッチ



防爆ネットワーク
カメラシステム



安全リレーモジュール



防爆マットスイッチ

売上高比率
12%
65億円

New Business

新規事業 書P27



協調安全ロボットシステム



次世代農業ソリューション



環境・エネルギー関連事業



売上高比率
2%
12億円

Industrial Switches

スイッチ事業

スイッチ分野の
リーディングカンパニーとして、
人と機械の最適環境を創造します。

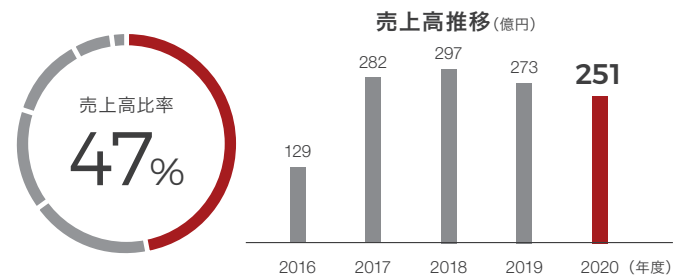
創業以来培ってきた制御技術により、FA(ファクトリー・オートメーション)機器だけでなく生活の身近なシーンにおいても、革新的なソリューションをグローバルに提供し、安全・安心・ウェルビーイングの実現に貢献しています。

製品の品質や耐久性、安全性を追求するとともに、使いやすさ、デザイン性にもこだわった製品ラインアップを備えることで、IDECグループは制御用操作スイッチのグローバルNo.1カンパニーを目指し、人と機械をつなぐさまざまなソリューションを提供してまいります。

2020年度の業績

アジア・パシフィックにおいては、中国で需要が回復したことから、売上は堅調に推移しました。

しかし日本、米州、欧州においては、下期から徐々に市況が回復傾向となったものの、景況感の悪化などの影響を受けたことから、各地域で売上が減少しました。



TOPIC

機械の権限管理や履歴管理を可能にするφ22スマートRFIDリーダ「KW2D形」

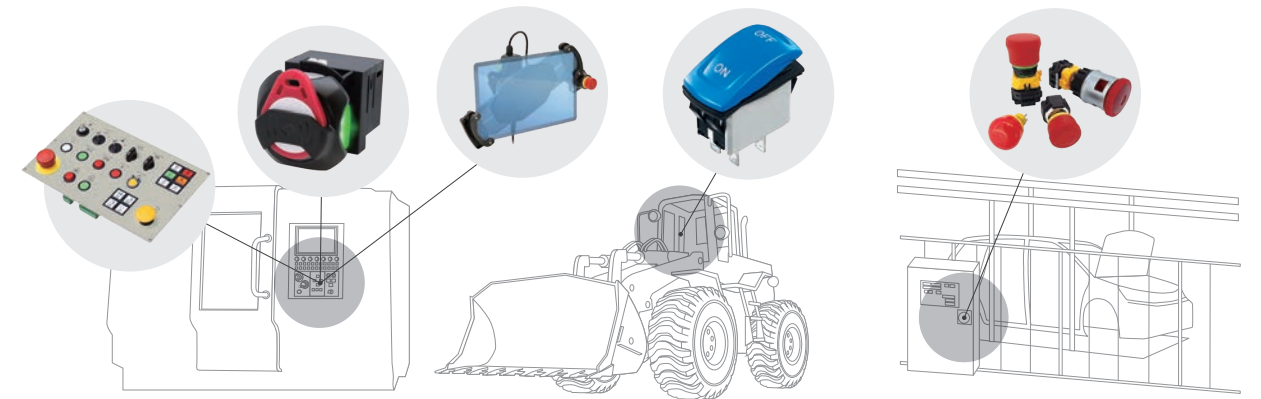
生産現場では、労働者の多様化により、労働災害や機械の故障、不良品の流出等の問題が増加傾向にあり、個人認証による機械の操作権限管理や、検査などの履歴管理のニーズが高まっています。

そこで、社員証などのICカードが読み取り可能な、φ22スマートRFIDリーダ「KW2D形」を2020年にグローバルで発売しました。「KW2D形」はICカードの読み取りだけでなく、鍵の代わりとして欧州で広く使われているKEYFOBタグの読み取りが可能で、あらゆる機械設備の権限管理や、現場での入退室管理、生産ラインの履歴管理を実現します。



スマートRFIDリーダ
「KW2D形」

主な活用シーン



各種装置や特殊車両などのスタイリッシュな操作パネルや、タブレットが取り付け可能なハンディタイプの操作機器

高い安全性が求められる生産ライン等の非常停止用押ボタンスイッチ

事業戦略

制御用操作スイッチの「グローバルシェアNo.1」へ

1958年に制御用操作スイッチの販売を開始して以来、製品ラインアップを拡大するとともに、設計の見直しや品質改良を重ねることで日本国内で高い市場シェアを獲得してきました。近年、多様な人材が働くうえで、誰でも安全に、簡単に、そして効率よく働ける環境の整備が求められていることから、省配線・省スペース・高い信頼性を実現するPush-in接続方式を採用した製品のラインアップ拡充に取り組んでいます。

2017年には、フランスのAPEM社がIDECグループに加わり、地域ポートフォリオの適正化を図ることができました。両社の得意とする業界や地域を相互補完することで売上を拡大するとともに、テクノロジー面でもシナジー効果を生み出し、次世代のHMI製品を創造し続けることで事業の拡大を推進しています。

制御用操作スイッチのリーディングカンパニーとして、社会のニーズに対応した製品とソリューションを創造し、お客さまの生産性向上のためにHMI環境を革新し続けていきます。



主力製品の国内シェア(2021年3月末時点) ※当社調べ



IDECとAPEMの主力販売業界

生産現場のタブレットに安全機能をプラス

近年、生産現場では、操作パネルや教示用ペンダントの代わりに、高機能で安価な市販のタブレットを使用するケースが増加しています。しかしISO/IECの安全規格の観点から、機械など危険源の近くで使用する場合は、非常停止用押ボタンスイッチやイネーブルスイッチなどの安全機器の搭載が要求されており、タブレット導入の障壁となっています。

そこで、市販されている多様なタブレットに安全機器を装着可能な、セーフティコマンド「HT3P形」をグローバルで発売しました。生産ラインや装置の制御、ロボットのティーチングなどにタブレットを活用いただくことが可能となり、安全性、利便性の向上やコスト削減に貢献します。



セーフティコマンド「HT3P形」

Industrial Relays & Components

インダストリアルコンポーネンツ事業

幅広いラインアップで、
お客さまの課題を解決します。

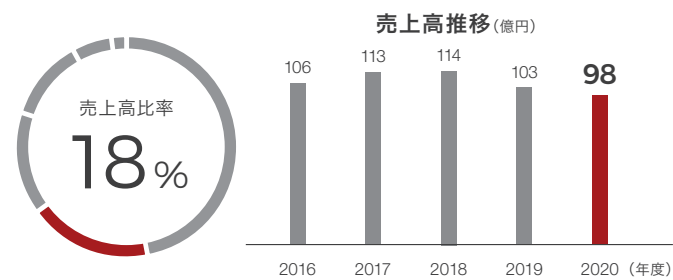
インダストリアルコンポーネンツは、機械装置や生産ラインを操作・制御するために使われる、制御盤や制御部に組み込まれる各種電気機器の総称で、生産現場はもちろんのこと、エレベータ制御を含むビルの設備管理や自動倉庫、工作機械や半導体製造装置など幅広いシーンで使用されています。

装置や設備のインテリジェント化や省スペース化、品質の安定化のニーズがますます強まっていることから、IDECでは制御盤内の各種機器に新しい技術を付加し、作業効率の向上や利便性の高い快適な生産環境を提案することで、さまざまな課題解決をサポートし続けています。

2020年度の業績

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、設備投資需要が減少したことから、主力市場である日本や米州を中心に売上が減少しました。

一方、中国においては制御用リレーの売上が堅調に推移しました。



TOPIC

組端子サービスの強化による販売拡大

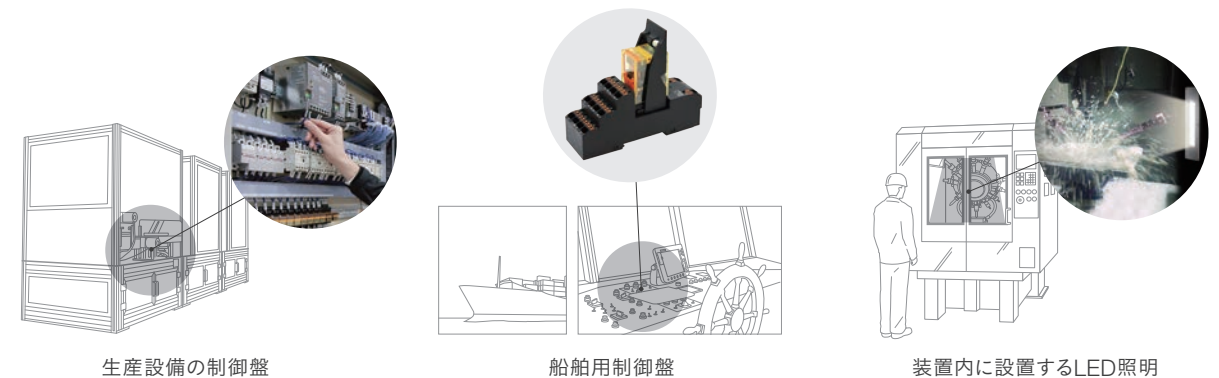
BNシリーズをはじめとする端子台は、現場での作業効率を高めるためDINレールに取り付けた状態「組端子」でお届けするサービスが好評です。

Push-in端子台「Aシリーズ」や、固定端子台「BTBシリーズ」など幅広い製品に展開し、短納期でお届けすることで、さらに販売を拡大していきます。



端子台レイアウトソフト画面

主な活用シーン



生産設備の制御盤

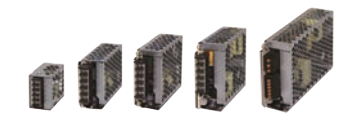
船舶用制御盤

装置内に設置するLED照明

事業戦略

成長する電源市場に最適な小形スイッチングパワーサプライを投入

コロナ禍でニューノーマルな環境を作り出す各種新装置や機器、工場の状態監視や遠隔地のセキュリティの「見える化」を実現するIoT機器など、どの機器にも電源が必要になります。これらの装置・機器の搭載に最適な、耐温度・ノイズ性能が高く、小形で高効率、取付位置の自由度の高い小形スイッチングパワーサプライ「PS3V形」を発売しました。各種安全規格に対応し、国内外のFA用途、冷凍・冷蔵庫やオフィス用機器等をターゲットに拡販展開を図ります。



アプリケーション事例



食品の保存設備



駅ホームの安全設備

Push-in製品とサービスの拡充

制御盤の課題である、小形化、省配線、省工数を実現するPush-in製品の拡充はもちろん、フェルールの自動圧着機などのレンタルサービス・工具校正サービス、お試しスタータキットによるPush-in導入を簡単に推進いただくサービスを含めた、総合サポート体制の構築に取り組んでいます。

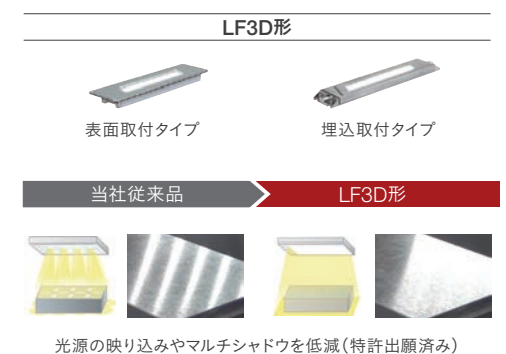
従来のPush-in対応製品に加え、スマートRFIDリーダ、安全リレーモジュール、スイッチングパワーサプライを新たに追加。配線工数の削減と安定した配線品質の実現、増し締め不要の利便性で、社会に貢献します。

	2019年度	2020年度
盤前面 10,000品目以上	HWシリーズ	CW/YWシリーズ スマートRFIDリーダ
盤内部 3,000品目以上	プログラマブル コントローラ	リレー ソケット 安全リレー モジュール スイッチング パワーサプライ
盤端子部・ 周辺機器 5,000品目以上	端子台	レンタルサービス 工具校正サービス 工具&フェール

顧客ニーズに応えるLED照明のシェア拡大

工作機械内での使用時に、LEDの点光源による対象物のマルチシャドウ(多重影)や光源の映り込みによる手元の見づらさを解消したい、というニーズに応えたLED照明ユニット「LF3D形」を開発しました。

IDEC独自の光学設計と最適なLED配置の組み合わせにより、マルチシャドウや映り込みを抑え、加工対象物の傷や凹凸の細かな部分を確認することができます。また、従来品から発光面の輝度分布の明暗差を85%も改善し、均一な光で機内をムラなく照らすことができるほか、作業者の眩しさを低減するグレアセーブモードを標準装備するなど、IDECの高い技術で市場ニーズに応える製品を生み出しています。



Automation & Sensing

オートメーション事業 / センシング事業

IoTやIndustry 4.0時代に
最適なソリューションを提供します。

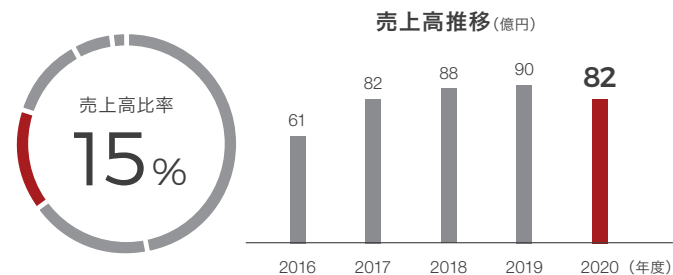
労働人口の減少やIoTなどの進展にともない、遠隔監視・操作への対応に加え、作業の高効率化や自動化推進のキーデバイスとなる製品の需要が高まっていることから、多種多様な製品をラインアップしています。

機械設備や生産ラインを制御するプログラマブルコントローラや、快適な操作環境を実現するプログラマブル表示器などのオートメーション機器に加え、状態の変化や物体を検出するセンサ、トレーサビリティ用途での需要が拡大するコードリーダ、RFIDなどの自動認識機器といったセンシング機器など幅広いソリューションを提供することで、生産の自動化・効率化に貢献しています。

2020年度の業績

日本においては、プログラマブル表示器やプログラマブルコントローラの減少に加え、2019年の消費増税前に需要が増加したバーコードリーダなど自動認識機器の売上が、前年度に比べて減少しました。

一方で、欧州におけるプログラマブルコントローラの需要増加などにより、オートメーション事業の売上は全体として好調に推移しました。



TOPIC

高速搬送での検知を実現する小形光電スイッチ「SA2E形」

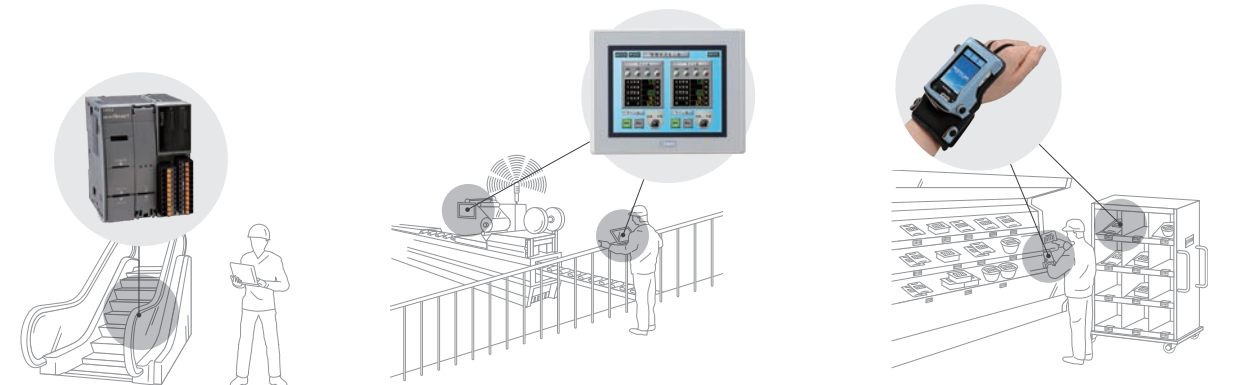
IoTの進展にともない、さまざまな業界でセンサの需要は高まっています。これまで、高速移動する小形ワークは、間隔をあけて検知する必要がありました。しかし、2021年に発売したアンブ内蔵小形光電センサ「SA2E形」は、従来製品と比べて半分の応答時間となる0.5msを実現し、連続した小形ワークの高速搬送での検知が可能となりました。

また、異なる検出距離や検出方式の製品をラインアップすることで、用途に応じて最適な製品を選択することができ、多様なニーズにお応えできます。



小形光電スイッチ「SA2E形」

主な活用シーン



遠隔監視・操作を実現する
プログラマブルコントローラやプログラマブル表示器

作業効率を向上させるウェアラブル端末

事業戦略

MQTT対応によりクラウドサーバーに直接データ送信が可能に

各種機器から集めたデータをサーバーに保存し、分析・活用したい、という需要の高まりを受け、2020年よりプログラマブルコントローラ（PLC）「FC6A形Plus」が、MQTTプロトコルに対応しました。

IoTに適した通信プロトコルとして国内外で広く利用されているMQTTですが、対応する産業用コントローラは限られているため、データをサーバーへ送信する場合はMQTTプロトコルに変換するための通信機器や、中継サーバーが必要でした。FC6A形PlusがMQTT対応となったことで、PLCから直接データ収集サーバーと通信することができ、制御とセンシング、通信を1台で行えることから、簡単にIoT化の需要に対応することが可能となりました。

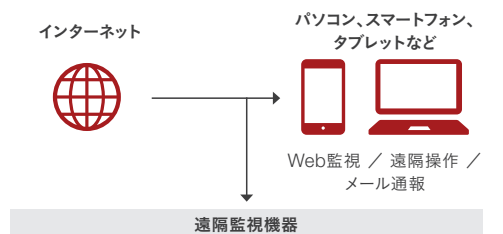
MQTT



プログラマブルコントローラ
「FC6A形Plus」

IoTを実現するソリューション提案を推進

あらゆるものが「つながる」時代に最適な、プログラマブルコントローラ、プログラマブル表示器、センサ、コードリーダなどにIoTを実現する機能を強化し、さまざまな課題解決に貢献するソリューション提案を推進しています。



遠隔監視と操作システムのイメージ

データをためる	現場で必要なデータを検出／測定します。
データを送る	インターネット上のサーバーにデータを送ります。
データを見せる	遠隔地でも、パソコン、タブレットなどの端末から現場の状況を知ることができます。
メールで通報する	異常が発生すると警報メールを発信します。
遠隔地から操作する	離れた場所から現場の設定を変更できます。 IO-Link対応のセンサではパラメータの変更が可能です。



Safety & Explosion Protection

安全・防爆事業

世界一安全・安心・ウェルビーイングを追
究・実現する企業として、安全性と生産性
向上に役立つソリューションを提供します。

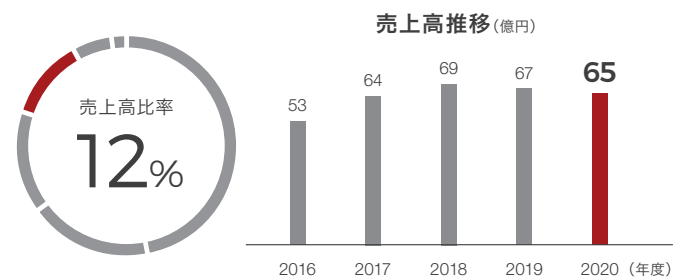
IDECは創業以来、人と機械の安全で快適な環境づくりを目指し、多様な安全関連機器や防爆関連機器を開発し、機械の隔離と停止を実現するSafety1.0製品の普及拡大を図っています。

人と機械の協調安全を実現する次世代の安全思想「協調安全／Safety2.0」の考え方にに基づき、機械情報の活用により人が危険を回避することや、人情報の活用により機械の危険な制御を防止することを可能にした、新たな安全関連機器アプリケーションをご提案すると同時に、新たな規格づくりや、コンサルティングといった安全の普及活動にも力を入れています。

2020年度の業績

グローバルな設備投資需要の減少や景況感悪化の影響により、セーフティレーザスキャナなど一部製品の売上が減少しましたが、中国の売上が好調に推移したこともあり、安全関連機器の売上はほぼ横ばいとなりました。

防爆関連機器については、主に日本において売上が減少しました。



TOPIC

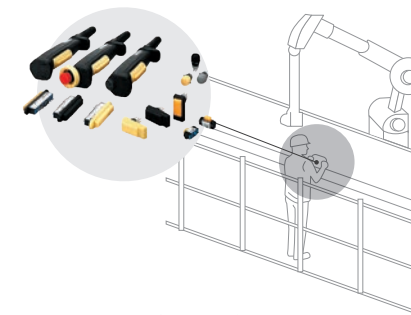
防爆関連機器のポートフォリオを拡大

可燃性ガスや液体が存在する現場では、安全確保のために通常の制御機器ではなく、防爆エリアでも使用できる防爆製品が必要不可欠です。IDECグループの強みや知見を融合し、2019年に存在検知が可能な防爆マットスイッチを発売し、2020年には耐環境性が高く、ガス・蒸気防爆と粉じん防爆にも対応した防爆LED照明「HLL形」を発売しました。

今後はさらなるシェア拡大を目指し、国際規格であるIEC-EX認証を取得した「EU2B形」コントロールユニットの販売拡大を推進することで、防爆関連機器のグローバル展開を図ります。



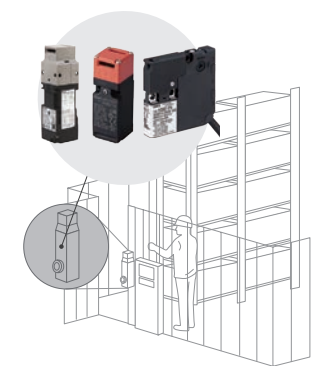
主な活用シーン



生産ライン等で安全性を確保するイネーブルスイッチ



エリア内の存在検知が可能なセーフティレーザスキャナ



扉や安全柵の開閉を検知し安全対策に役立つ安全スイッチ

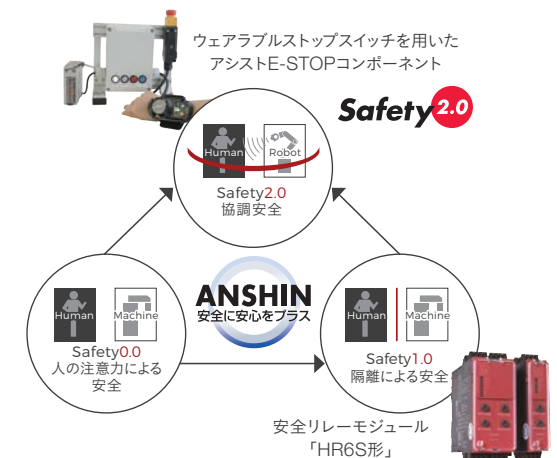
事業戦略

協調安全／Safety2.0のリーディングカンパニー

安全への考え方は、人の注意力や判断力により安全を確保してきたSafety0.0に始まり、機械側に安全対策を施し隔離と停止により安全化を図るSafety1.0、そして近年では、人と機械が協調し、安全性と生産性の両立を実現するSafety2.0へと、時代とともに変遷しています。

安全スイッチやイネーブルスイッチに加え、セーフティレーザスキャナや安全リレーモジュールなど、さまざまなアプリケーションに活用できる安全関連機器のシェア拡大を目指しています。

現場の今を支えているSafety1.0製品の拡販を図ると同時に、「協調安全／Safety2.0」の実現に向け、手元に装着したスイッチを操作することで、離れた場所から機械を非常停止させることができる、ウェアラブルストップスイッチなどの革新的なSafety2.0製品の開発を進めています。

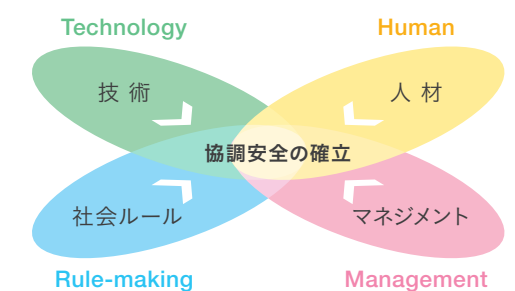


世界一安全・安心・ウェルビーイングを追究・実現する企業へ

「協調安全／Safety2.0」は、技術開発に加え、人材育成、マネジメント、社会ルール形成の4つの側面から包括的にアプローチすることで、安全性と生産性の向上を実現します。

他社との技術開発や、ロボット・セーフティアセッサ等の安全のプロフェッショナル人材育成、安全・健康・ウェルビーイングの向上を図るVision Zeroへの参画、国際標準の指南書となる白書“Safety in the Future”策定を通じて、安全・安心・ウェルビーイングの新たな潮流を形成し、業界業種の垣根を超えたグローバルへの拡大を図っています。

また、大きな潜在需要がある中国市場での事業拡大に向けた取り組みも推進しており、中国国家標準化管理委員会(SAC)と、2017年から安全や標準化に関する技術交流会を行っています。2020年には、中国各地でウェビナー形式の安全セミナーを実施しました。今後、中国の需要に特化した安全関連機器も展開予定です。



上海の安全セミナー



New Business

新規事業

制御技術を活用した
多様なソリューションで、
社会課題の解決に貢献します。

IDECグループの新規事業は、IDECファクトリーソリューションズ株式会社を中心とする協調安全ロボットシステム事業と、IDECシステムズ&コントロールズ株式会社を中心とする環境・エネルギー関連事業を主な領域として展開しています。

産業現場での労働力不足や地球温暖化などの社会課題に、IDECグループ一丸となって貢献しています。

2020年度の業績

日本において、メガソーラーや太陽光発電用電力マネジメントシステムなど、環境・エネルギー事業の売上が大幅に減少しました。

一方、協調安全ロボットシステム事業は、自動化、省人化といった需要の拡大により、多様な企業向けの導入事例が増加し、売上は堅調に推移しました。

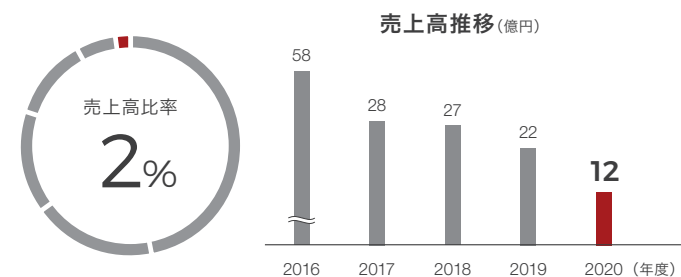
事業戦略

協調安全ロボットシステム事業

IDECの強みである安全関連機器や安全システムを軸に、各種メーカーの協働ロボットやビジョンセンサ、人工知能(AI)、自律走行搬送ロボット(AMR)などを組み合わせたシステムと多様なアプリケーションパッケージを、顧客ニーズに合わせてご提供しています。



協調安全ロボットシステム



環境・エネルギー関連事業

自家消費型ソーラー発電をはじめとする再生可能エネルギーや、事業継続計画(BCP)対策のための電力供給、次世代農業ソリューション、それらを連携させた生産、物流、店舗までのサプライチェーン全体におよぶストアソリューションなど、長年培ってきた制御技術、環境技術を活かして、グローバルレベルで進行するさまざまな社会課題の解決に貢献しています。



再生可能エネルギー



経営と一体となった

CSR活動

企業理念である『The IDEC Way』に基づき、行動基準・CSR憲章・国連グローバル・コンパクトの10原則を重要な指針として定め、事業活動を通じた社会課題の解決に取り組んでいます。また社会と私たちの双方にとっての価値を生み出す「共通価値の創造(CSV)」により、社会に求められる企業として価値向上を目指しています。



国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」に、事業活動を通じて貢献していきます。

Webサイトでの情報開示

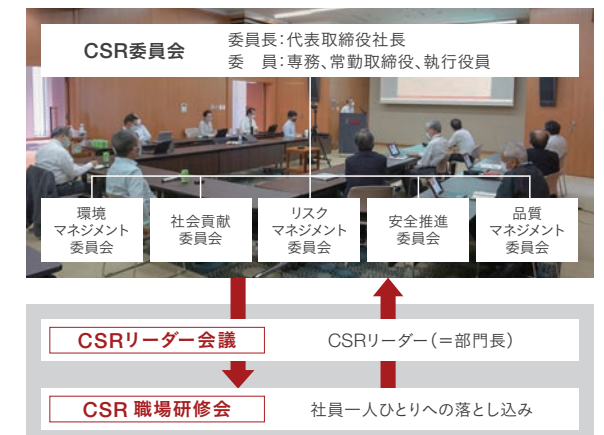
CSRに関する情報はWebに掲載しています。

https://jp.idec.com/idec-jp/ja/JPY/corporate_social_responsibility



推進体制

IDECグループのCSR活動方針を策定する機関として「CSR委員会」を設置しています。委員長は社長とし、CSR委員会の傘下には、ESGに、私たちの強みである「安全:Safety」「品質:Quality」を加えた「ESG+Sa+Q」の5つの分野の専門委員会を設けています。各専門委員会の委員長は執行役員とし、専門知識や経験を持ったメンバーで構成され、それぞれのテーマに即した施策に取り組んでいます。CSR委員会で議論した重要課題は、取締役会に報告しています。



社員一人ひとりが取り組むCSR

CSR委員会で議論された内容をCSRリーダーがCSR職場研修会で社員一人ひとりと共有し、「CSR活動の実践」ならびに、意見が言い合える「風通しの良い職場づくり」を目指しています。2020年度の社員からの意見・提案は688件あり、各専門委員会に共有され、IDECグループのCSR活動の参考としています。



本社食堂の社員へのCSR職場研修会

TOPIC

サプライヤーさまとともに取り組むCSR調達

サプライチェーン全体でCSRに取り組むため、IDECグループの「CSR調達ガイドライン」「グリーン調達ガイドライン」を策定し、サプライヤーさまのご協力をいただきながら2018年度より運用しています。人権の尊重や働きやすい職場環境づくり、環境への配慮、責任ある鉱物調達、事業継続計画(BCP)への取り組みなどを定めており、2020年度は50社のサプライヤーさまにセルフアセスメントを実施していただきました。この結果をもとに、今後CSR監査を行っていきます。

安全

グローバル社会での安全で快適な環境づくりのため、
全ての事業活動において常により高い安全性を実現し、世界一
安全・安心・ウェルビーイングを追究・実現する企業を目指しています。

セーフティオフィサ、セーフティアセッサおよび
セーフティベシッカセッサ有資格者数
(2021年4月時点)

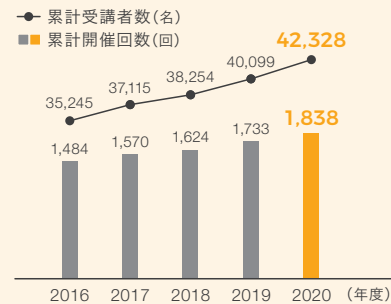
565名 前年度比 \uparrow +154

ロボット・セーフティアセッサ有資格者数
(2021年4月時点)

122名 前年度比 \uparrow +4

国際安全規格に基づいた安全なもののづくりや
安全コンサルティングを行うため、セーフティア
セッサ資格の受験費用や資格更新費用を会社
が負担し、社員に取得を推奨しています。

安全セミナー・防爆セミナーの累計受講者数
および開催回数 (IDEC単体)

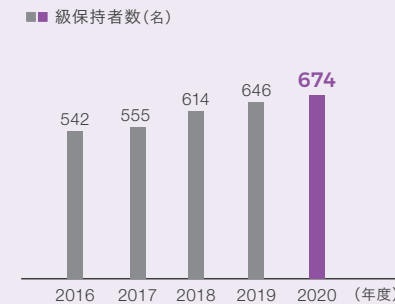


正しく安全・防爆関連機器を使っていたく
ための基礎・応用・実践の社外向け無料セミナー
を開催しています。コロナ禍においてはオンラ
インに切り替えて開催を継続しています。

品質

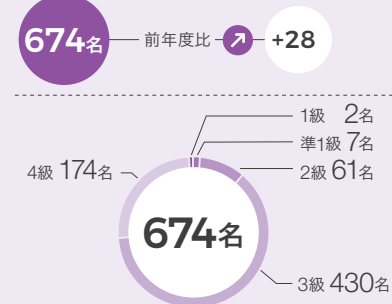
「安全」「安心」な製品サービスをお届けするため、
「品質のIDEC」を実現する品質保証体制を築き、
開発・生産・販売・サービス提供に取り組んでいます。

品質管理検定(QC検定)の
級保持者数推移



品質改善の力量確認・育成を目的として、一般
社団法人日本品質管理学会が認定する品質
管理検定の受験を推奨しています。2020年度
の級保持者数は前年度比28名増加しました。

品質管理検定の級保持者数
(2020年11月時点)

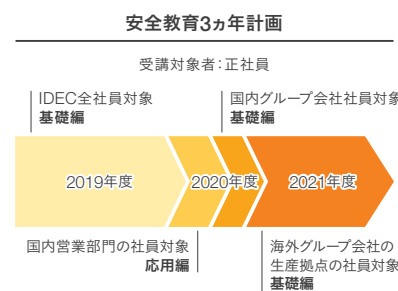


継続的なQCサークル活動や品質管理研修の
階層別実施等により、2020年度は、最難関資
格である1級保持者が1名増加しました。

安全分野の人材育成

「安全・安心」を社会に提案し啓発
できる人材を育成するために、安全研修
を実施しています。安全教育3ヵ年計画
を策定し、2019年度はIDEC全社員
向けに安全研修を実施し、2020年度
は国内グループ会社にも対象を広げて
実施しました。2021年度は海外拠点
での実施を予定しています。

安全研修では、IDECの安全の歴史
や安全についての考え方、IDECの安全
製品、Vision ZeroやSafety2.0など
最新の情報を伝え、研修後に理解度
テストを実施し知識の定着を図ってい
ます。



ISO 45001認証取得

労働安全衛生マネジメントシステム
の国際規格であるISO 45001認証を、
2019年3月に滝野事業所で初めて
取得しました。毎年、対象事業所を拡
大し、2020年度は兵庫県にある滝野・
福岡・尼崎・竜野の4事業所で認証
を取得しました。2021年度は本場事業所
(東京都)を加えた5事業所での認証
取得を目指しています。

労働安全衛生マネジメントシステム
に基づいてさまざまな活動を推進して
おり、作業内容のリスクアセスメント、
継続的な安全活動に必要なマニュアル
や手順書の整備、工場勤務の全ての
人による職場環境に関する「気づき報
告」の実施など、安全で働きやすい職
場環境づくりを行っています。



中国で『安全コンセプトブック』を発行

IDECグループは中国に複数の拠
点があり、協調安全／Safety2.0や
安全関連機器の普及を目的として、
『安全コンセプトブック』を中国語で
発行しました。

安全についての最新の潮流やISO
45001等をわかりやすく記載し、
安全・安心・ウェルビーイングを追究
するIDECグループのこだわりをまとめ、
具体的な安全機器の使用事例など
を紹介しています。

本冊子は中国においてIDECグループ
社員が安全を伝えるツールとして活用
しているほか、安全セミナーなどで配布
しています。



安全コンセプトブック(中国語版)

品質教育

全社の品質レベル向上のため、社員
への体系的な品質管理研修や品質
管理検定受験の奨励を継続的に行っ
ています。研修はオンライン化し、リモ
ートでの受講を可能にしています。

また、各拠点ではQCサークルが活
動中であり、製品の品質向上や業務の
効率化に取り組んでいます。

2020年11月には、第6回QCサー
クル発表大会をオンライン開催しました。
日本、中国、台湾、タイから代表9サ
ークルが出席し、活動成果を全社共有し、
IDECグループ全体の品質向上を進め
ています。



第6回QCサークル発表大会の優勝チーム(蘇州)メンバー

全社品質会議の月次開催

海外を含む各生産拠点における品
質保証・品質改善活動をグローバル
レベルで強化するため、月次で全社
品質会議を開催しています。本会議
を通じて、品質に対する意識向上を
図り、各拠点間の連携を強化するこ
とで、IDECグループ全体の品質管理
体制向上へとつなげています。

また2020年度はコロナ禍のため延
期となりましたが、ものづくりの品質に
関わる国内外の関係者が海外拠点で
一堂に会し、品質管理・品質改善等
種々の課題についてディスカッション
を行うグローバル品質会議を定期的
に開催しています。



2021年3月実施 全社品質会議の様子

ISO 9001認証

顧客や市場が求める品質を備えた
製品やサービスを提供するため、品質
マネジメントシステムを構築し、品質
マネジメントシステムの国際規格である
ISO 9001において第三者認証を取得
しています。

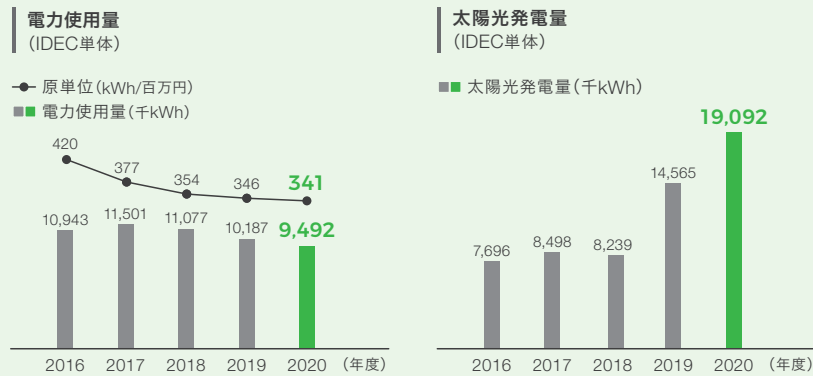


IDECグループISO 9001認証取得会社

IDEC株式会社 /
IDECファクトリーソリューションズ株式会社 /
IDEC AUTO-ID SOLUTIONS株式会社 /
IDEC ASIA (THAILAND) CO., LTD. /
台湾愛徳克股份有限公司 /
蘇州和泉電気有限公司 /
APEM SAS / APEM Components Ltd. /
MEC Aps / APEM Inc. /
APEM Wujin Electronic Co., Ltd. /
SACEMA / SAMELEC

環境

事業活動の全ての面で環境の保全を最重要課題として行動し、持続可能な発展を目指しています。環境法規制を踏まえたガイドラインを策定し、環境負荷の低減を推進しています。



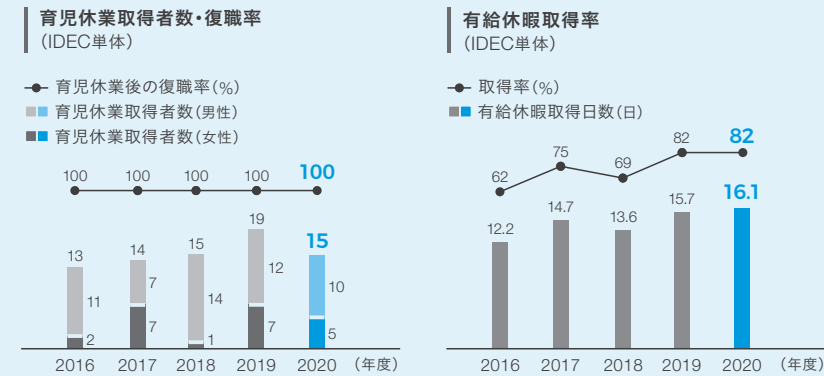
隣接階への移動にエレベータではなく階段利用を推奨するポスターの掲示や、冷暖房の省エネ温度設定の啓発ステッカーを掲示するなど、社内での省エネを推進しています。

※原単位算出方法の見直し・変更を行い、過年度データを修正しました

関西圏に4か所の太陽光発電所を設け、自然エネルギーを利用した電力の提供による再生可能エネルギーの普及に努め、地球温暖化防止への貢献を目指しています。

社会

グループビジョンである「全ての人々に幸福と安心をもたらす、より安全で持続可能な社会の実現」のため、社会課題に応える活動を継続的に実施し、社会との良好な関係を構築していきます。



育児休業の取得について、女性社員の取得だけでなく、男性社員も取得率90%以上を目標に掲げ、配偶者が出産した男性社員およびその上司に育児休業制度を周知しています。

※カウント方法の見直し・変更を行い、過年度データを修正しました

有給休暇取得率80%以上を達成し、さらに100%の取得を目標にしています。部下の取得率向上を上司の責任と位置付け、毎月取得実績を確認するよう促しています。

再生可能エネルギー

IDECによる太陽光発電の売電事業に加え、IDECシステムズ&コントロールズ株式会社では、発電所の用地取得から建設・アフターフォローまでをワンストップで提供するメガソーラー事業や、店舗や施設の屋根を利用した自家発電を導入する自家消費型ソーラー発電事業を行い、再生可能エネルギーの普及に取り組んでいます。

兵庫県のアSEMBルセンター、米国オフィス、台湾の工場、愛知県の工場の屋上に太陽光発電パネルを設置し、再生可能エネルギーの自家消費を推進しています。



グループ会社の台湾愛徳克股份有限公司では2020年9月に完成した和発工場の屋上に1,200枚の太陽光発電パネルを設置

環境に配慮した製品開発

社会における環境負荷低減や地球環境保護などの動向を踏まえ、「環境配慮型製品開発手順書」を改定し、省エネ性向上・省資源・省スペース・長寿命化など独自の基準により、評価シートを用いて環境配慮の目標を設定しています。製品開発の企画段階から環境負荷を低減するための課題を抽出し、製品化するには環境配慮度の評価・判定を行い、製品ごとにランク付けしています。

また、「環境ラベル管理手順書」を作成し、環境配慮型製品に該当する製品やサービスにはIDEC独自の環境ラベルを利用して、お客さまにも容易に判別していただけるようにしています。



IDEC独自の環境ラベル

グリーン調達

CSR調達ガイドラインの発行と合わせて「IDECグループ グリーン調達ガイドライン」を策定し、環境負荷のより少ない資材の調達と生産・販売を推進しています。「IDECグループ 規制化学物質」を定め、禁止化学物質と管理化学物質の2つのカテゴリに分けて、化学物質の管理を行っています。

ISO 14001認証取得

IDECは1997年に環境マネジメントの国際規格であるISO 14001の認証を取得し、現在国内の全グループ会社が認証を取得しています。

2017年にIDECグループに加わったAPEMグループにおいても認証取得を推進し、取得済みのフランスとチュニジアに加え、2020年度には新たにデンマーク・英国・米国でも認証を取得しました。2021年度中に、全APEMグループでの認証取得を目指しています。

人権の尊重

人間性を尊重し、人種・国籍・信条・性別・社会的身分・門地・障がい等による差別のないダイバーシティを推進した職場づくりに努めることをIDECグループ行動基準で定めています。

人権侵害やハラスメントが起こらない職場環境づくりやLGBTの理解促進のため「人権・ハラスメント研修」を実施しているほか、パワハラ防止法が2020年6月から施行されたことを受けて全管理職向けに「パワーハラスメント研修」を実施しました。

腐敗防止

腐敗防止を掲げる国連グローバル・コンパクトに署名し、IDECグループCSR調達ガイドラインにおいても、あらゆる種類の贈収賄・汚職・強奪・横領を一切禁止し、汚職防止関連の法律を遵守するためにその監視と手続きを遂行することなどを定め、腐敗防止に取り組んでいます。

健康への取り組み

社員とその家族が心身ともに健康であることが全ての基盤であるという認識のもと「IDECグループの健康宣言」を制定し、健康経営を推進しています。IDECヘルスケアセンターでは産業医と保健師が社員の健康管理や健康相談への対応、啓発活動等を行っています。

新型コロナウイルス感染症対策として緊急対策本部を設置し、時差制勤務・在宅勤務制度の活用、社内食堂の座席配置の調整や利用時間帯の分散、サーモグラフィーカメラによる来客および社員の検温、感染者発生時の対応フローの作成等を行い、感染者やクラスターが発生しない職場環境づくりに取り組んでいます。社員に対しては継続的に感染予防対策を啓発しています。



IDECヘルスケアセンター（本社）での保健師面談

ライフワークバランス

過重労働の予防や残業ゼロ化に努めています。勤務時間の長い社員や勤務間の休息時間が短い社員に対し、産業医との面談を通じて勤務状況の改善に取り組んでいます。また、ノー残業デーの設定や定時退社を促す館内放送を行っています。

記念日を対象とした「メモリアル休暇」や、育児・介護・ボランティアなどで利用できる「ライフサポート休暇」など、社員のライフワークバランスに配慮した休暇制度を設けています。



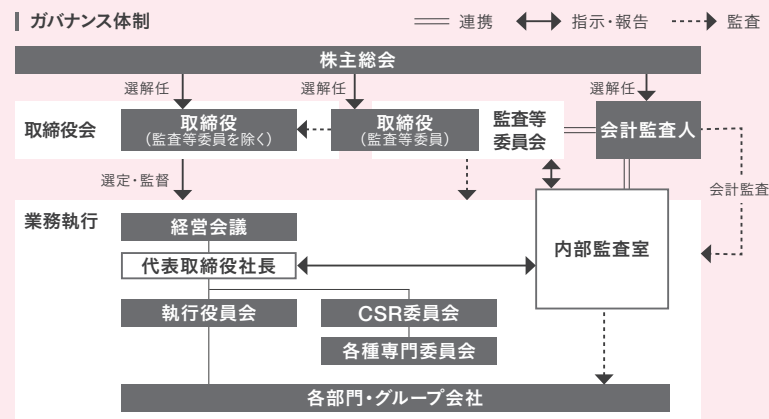
育児短時間勤務制度を小学6年まで利用可能とするなど、仕事と家庭の両立支援に取り組み、子育てサポート企業として2017年7月に厚生労働大臣認定「くるみんマーク」を取得

新卒社員の3年後定着率

定着率(単体)	2018年4月 入社者数	2021年4月1日 時点在籍者数
81.5%	27	22

ガバナンス

株主さまをはじめとするステークホルダーに対して、
経営の透明性と効率性を確保するために、
ガバナンス体制のさらなる強化を推進します。



社外取締役比率
(2021年6月時点)

社内
取締役
3名

社外比率
67%

社外
取締役
6名

コーポレートガバナンス

ガバナンス体制

監査等委員会設置会社として、取締役全員が議決権を持って活発な議論を行い、監査・監督機能の強化を実現しています。取締役会は社外役員を多く任用し、経営の透明性を確保しています。

任意の指名委員会と報酬方針

次世代幹部の候補者や育成計画を客観性・独立性を持って決定していくため、社外役員が過半数を占める任意の指名委員会を設置しています。

また取締役の報酬決定については、報酬方針を定めて取締役会で客観性をもって決議し、事業報告などに掲載しています。

社外役員交流会

社外役員とのコミュニケーション強化のため、2018年度から「社外役員交流会」を開催しています。2020年度は製品への理解を深めるため、新製品や注力製品について担当部長と社外役員が意見交換しました。

コンプライアンス

行動基準

職務を行ううえでの基本的な行動指針を「IDEC Group Code of Conduct」としてグローバルに発行し、社内イントラで国内外のグループ会社社員が自由に閲覧できるようにしています。また、職責に応じた階層別研修におけるコンプライアンス研修も継続的に実施しています。

内部通報制度

通報窓口である「IDECホットライン」を周知し、社員が利用しやすい環境を構築しています。また、グループ会社から本社の通報窓口へダイレクトに通報できる「グローバルホットライン」の整備にも着手し、地域ごとに優先度をつけて順次導入を図っています。



新製品や注力製品について意見交換された「社外役員交流会」の様子

リスクマネジメント

リスクマネジメント体制

リスクマネジメント委員会において業務上のリスクを想定し、その影響度や発生頻度を試算してリスクマップを策定しています。その中から年度ごとにターゲットリスクを定め、全社および各部門がリスク低減に向けた対策を実施し、毎年2回の進捗会議でモニタリングしています。2020年度からはリスクモニタリングの対象をグループ会社まで拡大するべく、グループ会社でのリスクマップ策定を進めています。

また、2020年度は緊急対策本部を設置し、新型コロナウイルスの感染拡大による影響や対策を展開しました。

主なリスク	主な対策
生産事業所の労働災害防止	● 安全衛生マネジメントシステム運用によるリスク低減と法的要求事項の遵守
製品事故発生防止	● QMSの手順書、帳票の整備
ハラスメント防止	● 教育の継続実施 ● 相談窓口の周知
情報セキュリティ対策	● IBOSアップグレード ● セキュリティログ監視強化

役員紹介

取締役



船木 俊之
代表取締役会長兼社長



船木 幹雄
代表取締役専務



山本 卓二
常務取締役



小林 浩
社外 取締役



大久保 秀之
新任 社外 取締役

取締役 (監査等委員)



川人 正孝
社外 取締役



金井 美智子
社外 取締役



八田 信男
社外 取締役



姫岩 康雄
社外 取締役

取締役に期待するスキルマトリックス

船木 俊之	船木 幹雄	山本 卓二	小林 浩	大久保 秀之	期待する分野*	川人 正孝	金井 美智子	八田 信男	姫岩 康雄
●	●	●	●	●	企業経営・経営戦略			●	
●	●				法務・リスク管理	●	●	●	●
●	●	●	●	●	人事・人材開発				
●	●				財務・会計	●		●	●
●	●	●		●	研究開発・生産				
●	●	●	●	●	営業販売			●	
●	●	●	●	●	国際ビジネス		●	●	●
●	●	●		●	業界の知見			●	●

※●は特に期待する分野を指します。

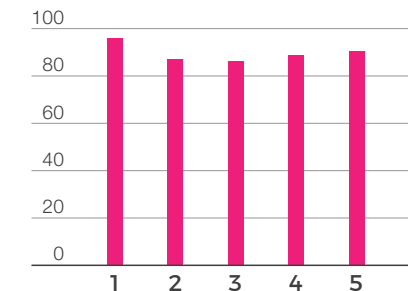
取締役会実効性評価

取締役会の実効性向上のため、2015年度から毎年、代表取締役社長を除く全ての取締役を対象としたアンケート方式で評価を実施しています。結果を取締役に報告し課題を共有したうえで、改善の取り組みを継続的に進めています。

アンケート項目・結果

- 1 取締役会の構成
人数と多様性
- 2 取締役会の運営
実施回数／所要時間／審議内容
- 3 コミュニケーション
中長期的議論／役員間コミュニケーション
- 4 リスクマネジメント・コンプライアンス
適切なレビュー／内部統制システム
- 5 役員への情報提供
情報提供体制／投資家・株主からのフィードバック

2019年度評価結果



評価結果
● 社外取締役の比率が高く、各分野の専門性を持った人員で構成できている
● 積極的に建設的かつ忌憚のない意見が述べられ経営への監督機能が発揮されている
● 交流会の開始により社外役員のコミュニケーションは改善されている

結果を踏まえた今後の課題
● さらなるグローバル化を見据えた多国籍構成の取締役会
● 次世代幹部候補者の育成
● 取締役会メンバーと幹部育成候補者との接点機会の増加
● 中長期的な経営戦略についての検討機会の増加
● 経営における透明性、効率性、モニタリング力の強化

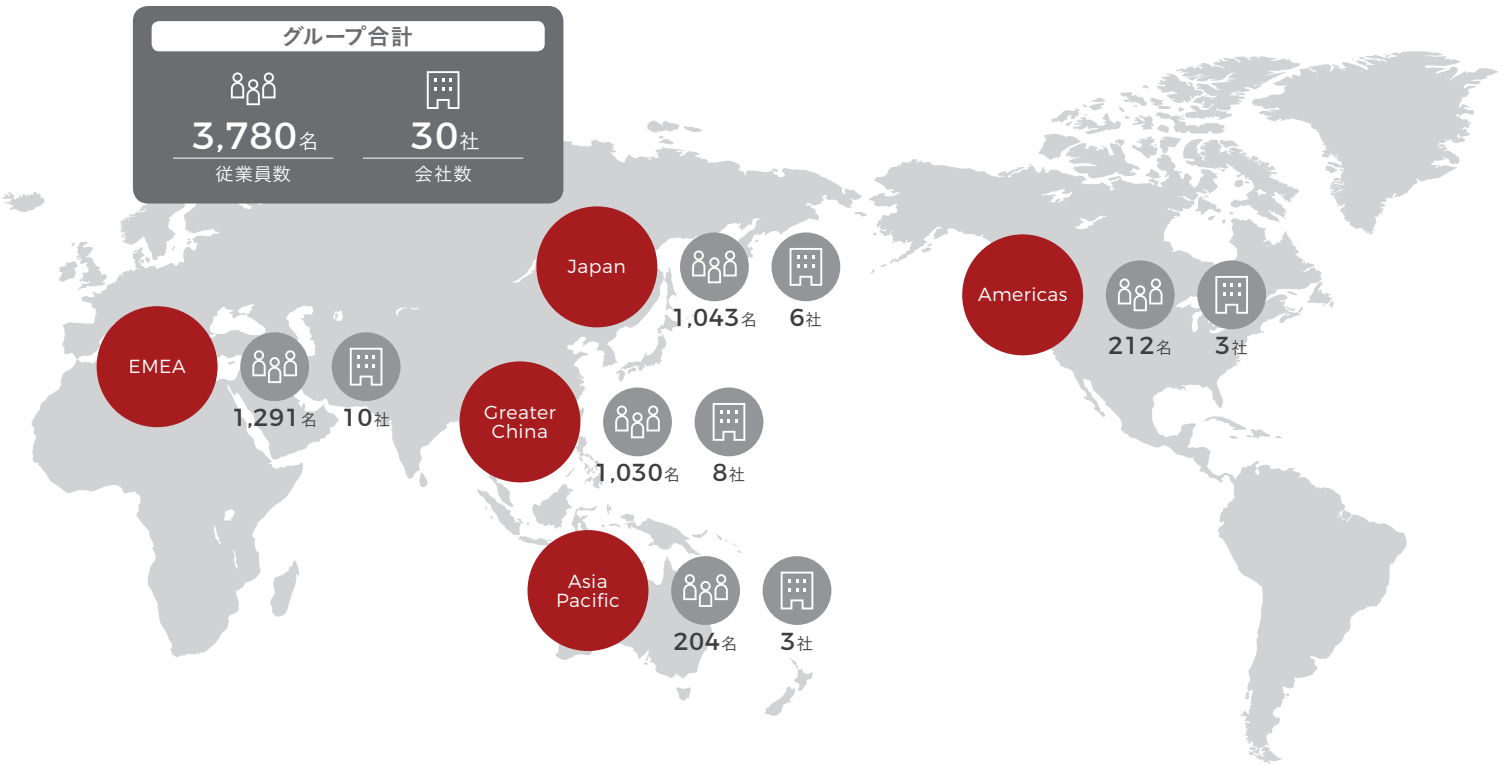
企業概要

社名	IDEC株式会社
英文社名	IDEC CORPORATION
設立	1947年3月26日
資本金	10,056,605,173円
社員数	連結3,780名(2021年3月31日現在) ※特定社員・臨時社員含まず
上場取引所	東京証券取引所市場第1部

2021年3月31日現在		
本社/ 技術研究センター	〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目6番64号 電話:06-6398-2500(代表)	
東京営業所	〒105-0022 東京都港区海岸1丁目 16-1 ニューピア竹芝サウスタワー15F 電話:03-6625-5180(代表)	
事業所	尼崎、福岡、滝野、木場	
営業所	東京、大阪	
物流センター	竜野	

グローバル事業展開

2021年3月31日現在



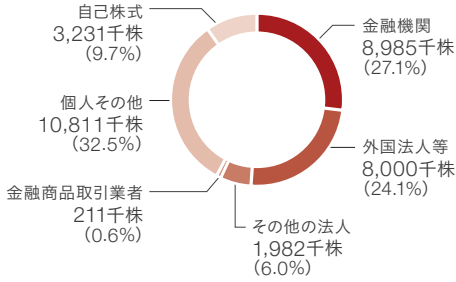
株式の状況

2021年3月31日現在

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	33,224,485株
株主総数	8,113名

所有者別分布

2021年3月31日現在



大株主 (上位10位)

2021年3月31日現在

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社日本カストディ銀行	5,022	16.75
JP MORGAN CHASE BANK	3,006	10.02
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	2,575	8.59
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	1,122	3.74
有限会社船木興産	1,041	3.47
THE BANK OF NEW YORK MELLON (INTERNATIONAL) LIMITED	817	2.73
BBH FOR GLOBAL X ROBOTICS AND ARTIFICIAL INTELLIGENCE ETF	740	2.47
藤田 慶二郎	652	2.18
CLEARSTREAM BANKING S.A.	477	1.59
株式会社みずほ銀行	412	1.38

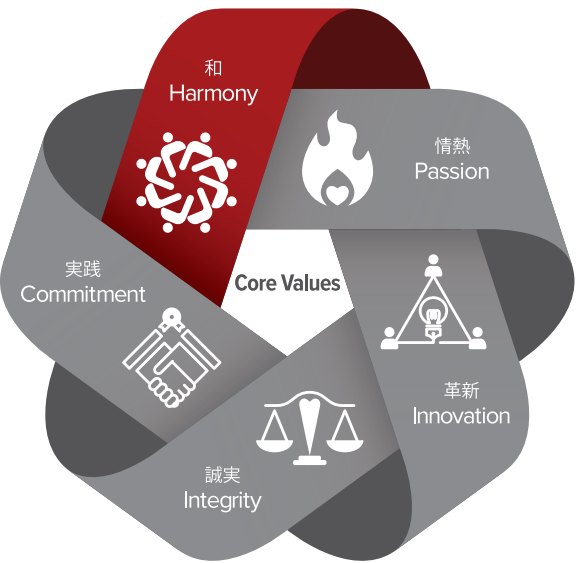
(注) 上記大株主の記載は、有価証券報告書の開示内容に準じています。

執行役員



-
- 赤松 浩二**
常務執行役員
生産・SCM担当
 - 藤田 俊弘**
常務執行役員
技術経営担当
 - Arnaud Mondy**
常務執行役員
マーケティング戦略担当
 - 河中 泰治**
常務執行役員
国内営業担当
中国事業推進担当(兼)
 - 釣 正樹**
執行役員
品質保証担当
 - 西山 嘉彦**
執行役員
経営管理担当
 - 吉見 晋一**
執行役員
経営戦略企画担当
 - 松本 敦**
執行役員
開発担当
 - 錦 朋範**
常務執行役員
技術開発・環境担当
 - 原田 博丞**
執行役員
新規事業開発担当
 - Marc Enjalbert**
執行役員
APEM担当

Core Values



- Harmony 和**
ビジョン実現のために
全てのステークホルダーと協調する。
- Passion 情熱**
常に情熱と誇りを持って、
楽しく最高のパフォーマンスを追求する。
- Innovation 革新**
お互いの個性を活かし、失敗を恐れず
挑戦することで、進化し続ける。
- Integrity 誠実**
何事にも真摯に向き合い、誠実・公正に行動することで、
信頼される存在であり続ける。
- Commitment 実践**
オーナーシップを持ち、
スピーディーかつ効率的にそれぞれの役割を遂行する。